

令和2年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	博水の郷		施設番号	K247
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和3年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和3年4月30日時点)
介護現場の労働環境について	働き方改革が言われ続けている現状であり、国は男性の育児休暇の積極的取得を謳っているが、どの業種・職種でも男性の育児休暇の取得は難しい。事業所も例外ではなく、離職にもつながりかねない男性職員の育児休暇の取得は課題と思われる。また、男女を問わず夜勤できない介護職員は常勤職員になれないという規則があるが、企業では短時間正社員制度なども取り入れている。事業所はこれまでに、他の事業所に先駆けた様々な施策を実施した経緯がある。職員が安心して働ける職場環境の改善へ、更なる取り組みを期待したい。	男性の育休については、積極的にとるよう職員に奨励している。また、夜勤無正職員制度も令和3年度から取り入れる。	① 実施済み  2 実施予定(令和 年 月ごろ)  具体的には以下のとおりです。  令和3年3月の理事会において、令和3年4月から夜勤が出来なくても正職員として働けるようにした。	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。
利用者の身体機能向上について	常勤の理学療法士がいないために機能訓練加算が取れず、非常勤の理学療法士がケアプランに介入している。今回の職員アンケートでは「利用者の身体機能など状況に応じた機能訓練を行っている」は自己評価が最も低い項目であり、居室担当職員が利用者へのリハビリや機能訓練が適正に出来ていない現状を把握していると思われる。日中の活動量が少ない高齢者の課題である自立支援に向けた個別対応として、生活リハビリ以外にも積極的な機能訓練が必要であり、機能訓練加算の取得に向けた今後の改善を期待したい	収入面から理学療法士などを雇用しての機能訓練加算の取得は考えていない。ただし、利用者の自立支援に資するよう、機能訓練指導員である看護師を中心にして、多職種協働で取り組んでいく。具体的には生活リハビリのメニューを増やし強化していく。	① 実施済み  2 実施予定(令和 年 月ごろ)  具体的には以下のとおりです。  非常勤の理学療法士のアドバイスを受けて、機能訓練指導員たる看護師を中心に多職種協働で取り組んでる。生活リハビリのメニューも見直し、利用者個々にあったものを選択して取り組んでいる。	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。
利用者が日常快適に過ごせるような取り組みについて	事業所は、例年、レクリエーションを事業所の年間計画に取り入れ、地域交流も含めた多彩な内容で実施していた。今年度はコロナ禍で全体としては行わず、それぞれのユニットごとでレクリエーションを計画・実施している。しかし、閉鎖的な環境下で自由に生活できない利用者にとっては、全体でのレクリエーションは、唯一の楽しい交流の場であり、職員にとっても利用者と一緒に楽しむことができる時間である。コロナ禍による生活環境の変化に合わせて、更なる工夫や発想による年間計画によって、利用者の彩り豊かな日々が戻ることを期待したい。	利用者や職員のワクチン接種が終わり、新型コロナウイルスが収束に向かうことを想定して、施設の行事やイベント、レクリエーションなどを事業計画書に落とし込んだ。	① 実施済み  2 実施予定(令和 年 月ごろ)  具体的には以下のとおりです。  利用者、職員とも1回目のワクチン接種が終わった。少しずつではあるが、行事やレクに参加できる人数を増やしており、楽しみを共有できる時間を作り始めた。	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和2年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。